

昭和三十二年春山合宿
山行計画書 (5月度)

編大

提出日 62年4月24日

電友会事務局			山岳部		
承認	検討	作成	承認	検討	作成
					(印)

配布先	団体名 日本電装株式会社・電友会山岳部				
塚本部長	所在地	愛知県刈谷市昭和町1-1	TEL	0566-22-3311	代表者 塚本英吾
町田CL	緊急連絡先	刈谷市二林町養下81-6	氏名	堺沢 範一	TEL 0566-76-7233
小幡原紙・北	目標の山名	中央アルプス	目的・方法	冬山偵察 縦走	
緊急連絡先	期間	62年4月30日～62年5月5日 5泊5日			
山行カバ-	行動日程	刈谷 須原駅 越前山 南駒倉 空木岳 樽屋山 富田山 駒倉 上松駅	概念図		
	4/30(木)				
	5/1(金)	越前小屋			
	2(土)	空木			
	3(日)	樽屋平			
	4(月)				
	5(火)	予備日			

NO	メンバー	役割	年齢	血液型	所属	住所	TEL	経験
1	町田 修	CL	31	B	I様 型1	刈谷市一色町 2-1-9	0566-22-0195	10
2	佐藤 正博	SL 会計	28	O	試作 型2	刈谷市横山町毛賀知58-4	0566-76-1674	6
3	亀山 誠	記録	34	A	I様 様機1	岡崎市久町字網笠 幡地の22	0564-24-4707	20
4	大矢 康裕	食糧	25	O	セブ技術 設計	名古屋市 中區 栄 4-12-27	052-241-5405	5
5	岡野 雄二	装備	27	A	I様 組付2	刈谷市小山町4-18 赤山小東	0566-22-9332	1
6								
7								
8								

食料	5人×11食分	予備食	5人×2食分	非常食	各自1食分	難易度	難 5 4 ③ 2 1 易
装 同	共	テント 3007型 5人用	1	カセット 2人用	1	ガソリン 大用	1
	備 個人	ラジオ	1. 町田	トランシーバー	1	医薬品	1
備 考	準冬山装備 (アイゼン、輪小、ポッケル)持参の事					カソリン	2ℓ
	(アイゼン、輪小、ポッケル)持参の事					スコップ	1
備 考	4/30 部室集合 6:00 → 刈谷					集会報告書作成者	町田
	名古屋 宛 → 須原 宛					提出日	5/20

T1807

* 集会用報告書 *

NO.

作成 年 月 日

工学部 設計3課

山域

 中央アルプス全山
須原駅～越百小屋

山行日

 昭和62年4月30日
5
昭和62年5月4日

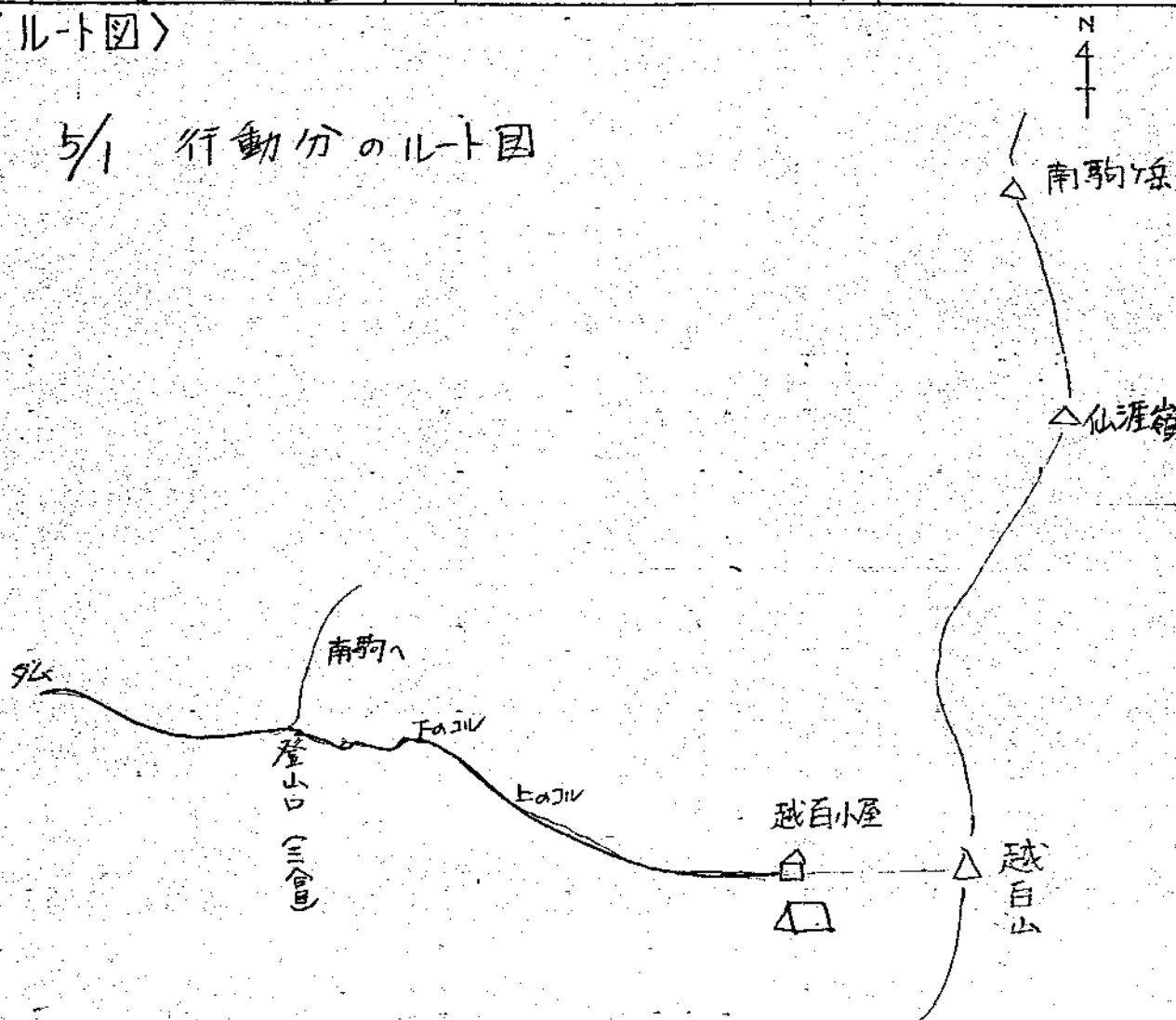
参加者

 CL: 町田
SL: 佐藤
亀山, 岡野, 大矢

配布先	
集会用	8
ファイル	1
山行リテ	1
原紙	
(学会委員会)	

<ルート図>

5/1 行動分のルート図



部長	
次長	
課長	
係長	
係	大矢

<所見> 5/1 須原駅よりタクシー

名駅にピッケルを忘れたドジな私のせいで、前日は中津川沿い、前途多難を思わせた。

- ◎ S 7:55 タム
- R 8:35 登山口 南駒ヶ原分岐あり
- S 8:45
- R 9:30 下のコル
- S 9:45
- ◎ R 10:40 6合目の上
- S 10:55
- ◎ R 11:25 スパッツ着 天理台の仙漣廣か見込
- S 11:40
- ◎ R 12:30 小屋手前のピーク登り かわりを金へい ウマイ!!
- S 12:40
- A 13:30 越百小屋 やんやめやと着いた。

報告者

大矢

報告日

62年5月20日

千
↑
千



* 集会用報告書 *

NO.
作成 年 月 日
部 課

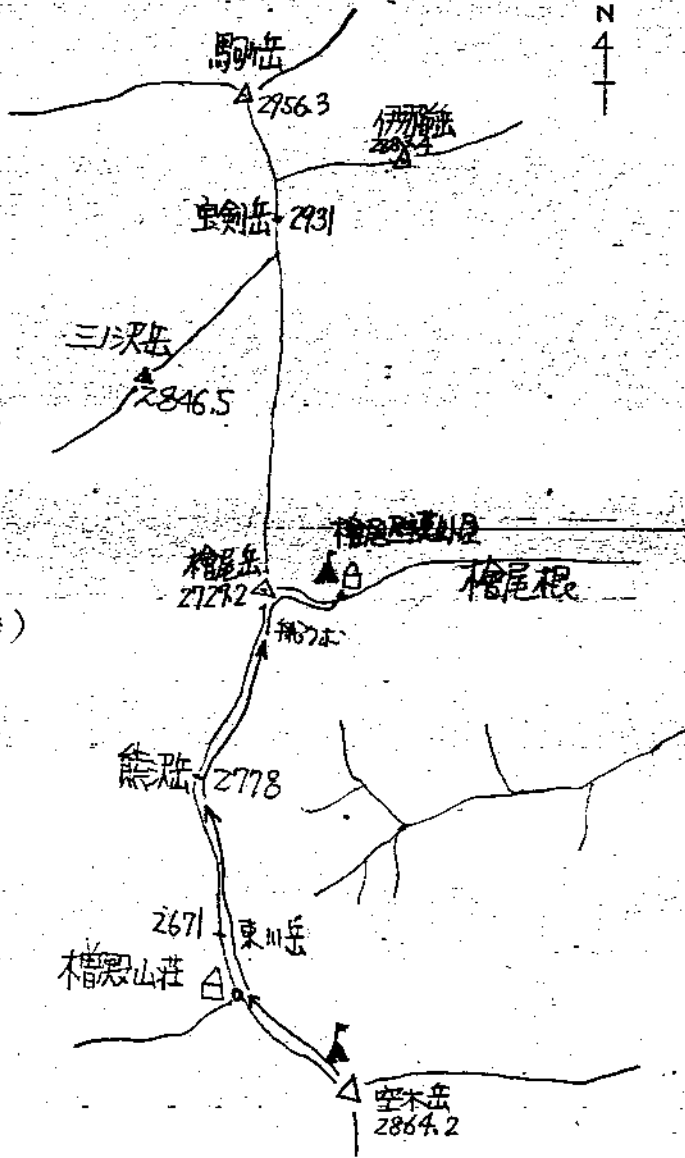
山域 中央アルプス 越前山 ~ 駒ヶ岳
山行日 昭和62年5月1日
昭和62年5月4日
参加系 CL: 町田 亀山
岡野 大矢 佐藤

配布先
集会用 8
ファイル 1
山行リポート 1
原紙
(集会用)

<ルート図>

5/3 雨

4:00起 5:55発
雨が下から吹き上げてくる
6:55~7:25 木曾殿山荘
(休憩料300円/人)
7:50 東川岳
8:50~9:00 熊沢岳へ
9:10 熊沢岳
10:30~10:40 船ヶ木
11:00 檜尾岳
11:10 檜尾避難小屋(200円/人)
17:00 外へテントを張る
19:00 ね3



部長
次長
課長
係長
係

<所見>

昨日の天気図での予想通り朝から雨で木曾殿越えまでの下りは雨が下から吹き上げました。1セック目でゴアのヤッケ(他の人はカッパ)の僕はすでに濡れていた。檜尾避難小屋に着いた時には全身ずぶ濡れだった。熊沢岳の下りなどで岩に氷が付着している場所は慎重に下った。
小屋の中でテントを張りかまコロヒアスで衣服を乾かす。
17:00頃他のパーティがきたので外へテントを張った。雨はもう止んでいて明日の好天を期待してシュラフに入る。

報告者 佐藤 報告日 62年5月20日



* 集会用報告書 *

NO.

作成

年

月

日

部

課

山域

中央アルプス
檜尾岳~木曾駒岳
~上松尾根

山行日

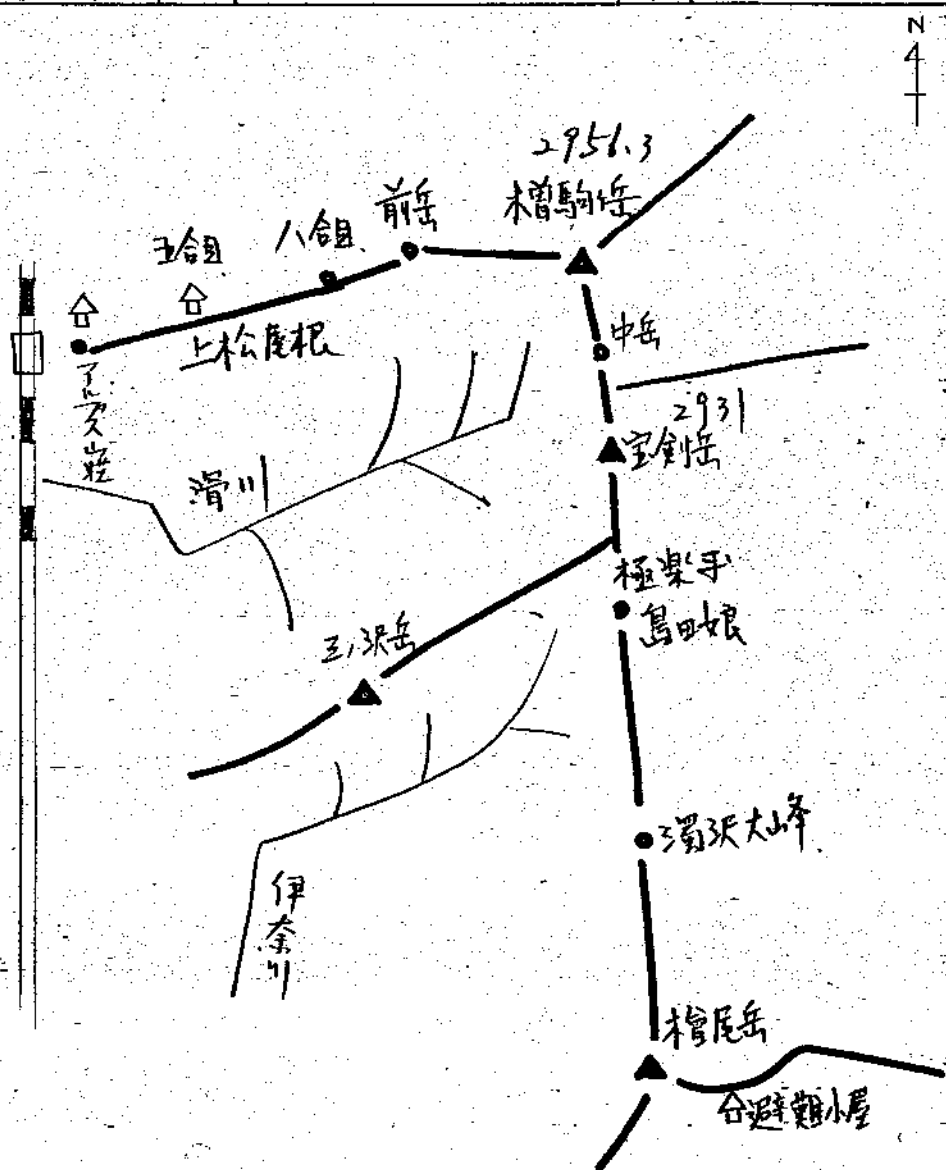
昭和 年 月 日
昭和2年 5月 4日

参加者

CL: 町田・佐藤・
亀山・大矢
岡野

配布先	
集会用	8
ファイル	1
山行リポート	1
原紙	
(集会用委員会)	

<ルート図>
5/4. 晴.
朝風強.
起床. 3:00
出発. 5:55
濁沢大峰 7:00
7:25
宝剣岳 10:05
10:20
駒岳 11:10
11:43
八合目 12:55
13:15
五合目 14:35
14:50
アルプス山荘
15:30~16:00



部長 <所見> 昨日の風雨により変り、本日は晴天である。朝風は強くテラの撒
取に多少時間を要した。3時起床から1時出発である。テラ場から真南にヒラキ
空木岳のくま見える。雪面は程良くクラストしており、アイゼンがキツ
良音を立てる。濁沢大峰までアイゼンで歩、島田根、極楽平辺りは雪が
歩く。この辺りから南西に三ノ沢岳が望まれる。時間がある中
今回は割愛した。宝剣岳登山は溶雪の凍結で部分的に
アイゼンを付し、慎重に行動する。干量数ではたぶん人が春スキー
宝剣山荘辺りはスキー客と731登山客とにわかる。木曾駒は遠く北アルプス
前岳から、アイゼン雪が付歩くと部分的に危険。所から上松尾根八合目
二合目までアルプス山荘まで下り、731で上松尾根に出て、刈谷に帰る。

報告者 町田 報告日 昭和2年 5月 20日